

瀬戸内海の環境の保全に関する大阪府計画における指標のフォローアップ

		現計画策定時点の状況(調査結果)		現在の状況(直近の調査結果)		備考
		調査年度	実績	調査年度	実績	
1 沿岸域の環境の保全、再生及び創出に関する指標						
1-1	・生物の生息環境の創出箇所数、実施規模	H28	【堺泉北港堺2区】 10haの干潟を整備	R2年度末時点	【堺泉北港堺2区】10ha の干潟を整備 【泉大津旧港】 貝殻ブロック及び貝殻 基質ユニットを用いた 生物生息空間の創出 (11基を試験設置) 【浜寺水路】 アルガーベイARW-C (reef)型による藻場造 成、生物生息空間の創 出及び環境改善効果 実証実験(3基を試験 設置)	・「豊かな大阪湾」環境改善モデル事業において、令和元年度から令 和4年度まで泉大津旧港と浜寺水路の2箇所では生物生息環境の創出 をし、現在モニタリングを実施している。
1-2	・藻場・干潟の面積	H27	藻場面積:97ha 干潟面積:38ha	—	—	環境省が実施する藻場・干潟分布状況調査結果を引用している。平 成28年度以降、大阪湾において調査が実施されていないため、把握 していない。
1-3	・海岸生物調査における出現種数、個体数	H28	【天保山】 60種(出現種数) 【堺2区人工干潟】 植物101、動物249※ 【近木川河口】 123種(出現種数) 【せんなん里海公園】 98種(出現種数)	R2	【天保山】 36種(出現種数) 【堺2区人工干潟】 植物105、動物235※ 【近木川河口(R元)】 119種(出現種数) 【せんなん里海公園】 98種(出現種数)	・天保山、近木川河口、せんなん里海公園については、大阪湾生き物 一斉調査の結果による。 ・近木川河口におけるR2年度調査は雨天により中止している。 ・堺2区人工干潟については、堺2区人工干潟生物調査の結果によ る。 ※堺2区人工干潟生物調査の結果については、4回調査の和のた め、重複がある。
1-4	・底質改善手法の調査研究・対策の事例	—	—	H28～R2	あり	大阪府漁連が主体となり、平成23年度以降、「海底耕耘」を継続的な 取り組みとして毎年実施している。
1-5	・底生生物調査における出現種数、個体数	H27	ゾーン1:4～8 ゾーン2:4～60 ゾーン3:5～56	—	—	環境省が実施する瀬戸内海環境情報基本調査結果を引用している。 平成28年度以降、大阪湾において調査が実施されていない。
1-6	・窪地の埋め戻し実施箇所数、埋め戻し量	H28年度末時点	【阪南2区沖】78% 【阪南4区沖】0.1% 【堺2区北泊地】25%	R2年度末時点	【阪南2区沖】85% 【阪南4区沖】0.1% 【堺2区北泊地】25%	・窪地の埋め戻し率で示している。 ・漁業者の要望により阪南2区沖を優先的に埋め戻している。
1-7	・「里海づくり」の取組の事例と箇所数	H26	5件	H30	11件	環境省作成の瀬戸内海環境保全基本計画に基づくフォローアップ資 料の数値を引用。
1-8	・自然海浜保全地区指定数	H28	2件	R2	2件	
1-9	・生物多様性地域戦略の策定自治体数	H28	4件	R1.12	5件	
2 水質の保全及び管理に関する指標						
2-1	・水質汚濁に係る環境基準の達成状況	資料1-2参照				
2-2	・水質(COD、T-N、DIN、T-P、DIP、TOC、底層DO、透明 度等)の状況					
2-3	・底質(COD、強熱減量、T-N、T-P、硫化物、酸化還元電 位等)の状況					
2-4	・水温の状況					
2-5	・貧酸素水塊の発生状況					
2-6	・赤潮の発生状況					
2-7	・クロロフィルaの状況					
2-8	・植物プランクトンの状況					
2-9	・動物プランクトンの状況					
2-10	・発生負荷量・流入負荷量					

2-11	・生活排水適正処理率	H28	95.5%	R1	96.2%	
2-12	・高度処理普及率(接続人口)	H26	58.9%	R1	65.3%	
2-13	・合流式下水道改善率	H26	約50%	R1	約63%	
2-14	・水浴場の水質判定基準の達成状況(府内4箇所)の達成率)	H28	100%	R1	100%	
2-15	・海水の流動改善等に係る調査研究・対策の事例	—	—	H28~R2	あり	・環境省「閉鎖性海域水環境改善対策調査検討業務」における検討防波堤の撤去や、導水路の設置、不陸地形の整正等による流動改善による水質改善効果の試算
2-16	・生物の生息環境創出箇所における水質浄化の状況	—	—	R1~	あり	・「豊かな大阪湾」環境改善モデル事業の実施 環境改善設備の付着生物の湿重量増加状況の把握
2-17	・貧酸素水塊の発生抑制に係る調査研究・対策の事例	—	—	H28~R2	あり	・夏季を中心とする貧酸素水塊の発生状況のモニタリング(府立環境農林水産総合研究所) ・「『豊かな大阪湾』創出手法に関する懇話会」における検討 ・環境省「閉鎖性海域水環境改善対策調査検討業務」における検討流動改善、浅場造成、覆砂、海底耕耘等による底層DO改善効果の試算
2-18	・栄養塩類の適切な濃度レベル及び管理手法の調査研究・対策の事例	—	—	H28~R2	あり	・湾奥部9地点における栄養塩類実態調査を実施 ・庁内関係室課と連携して湾南部の下水処理場における管理運営について検討 ・大阪湾における栄養塩の適正管理と魚介類への影響に関する研究(府立環境農林水産総合研究所)
2-19	・気候変動の影響を把握するために必要な基礎データの収集・解析及び適応策に関する調査研究・対策の事例	—	—	H28~R2	あり	・「気候変動の影響に対する適応策(水環境分野)検討ワーキング」(府・研究所)における検討
3 都市の魅力をも高める潤い・安心の創出と自然景観及び文化的景観の保全に関する指標						
3-1	・大阪湾と親しめる場の数	H28	18箇所	R2	18箇所	二色の浜公園、マールビーチ、岬町自然海浜公園など。
3-2	・既存の場のPRの強化・利便性の向上事例	—	—	H29~R2	あり	フォトコンテストにおける撮影スポット紹介(大阪湾環境保全協議会)、南海電鉄うみ・まちウォーク(大阪府)他
3-3	・住民や企業等と連携した景観の魅力創出に向けた取組事例	—	—	H29~R2	あり	フォトコンテストにおける撮影スポット紹介(大阪湾環境保全協議会)、南海電鉄うみ・まちウォーク(大阪府)他
3-4	・防潮堤や護岸の整備・補修・更新時における、海へのアクセスや景観への配慮	—	—	H26~ 護岸基礎部整備	あり	堺旧港における史跡旧堺灯台と調和した親水護岸整備(大阪府)
3-5	環境配慮型構造物の採用等の取組事例	—	—	R1~	あり	環境改善モデル事業(大阪府)他
3-6	・企業等と連携したエコツーリズムの実施事例	—	—	H29~R2	あり	南海電鉄うみ・まちウォーク(大阪府)他
3-7	・漂流・漂着・海底ごみの発生の抑制に係る啓発の事例とその件数	H28	イベント出展:9件	R1	イベント出展:9件(その他) ・啓発用ポスター・チラシの配布 ・児童向け新聞へのデータ提供(1回) ・ラジオ出演(1回) ・サイネージでの配信(1カ月間)など	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止したイベントが多いため、R元実績を記載した。 (参考)R2年度実績 4件(うちWEB開催 2件)
3-8	・国定公園・府立自然公園利用者数	H28	19,093千人	H30	17,476千人	
3-9	・国定公園・府立自然公園面積	H28	20,038.6ha	R1	20,039ha	
3-10	・景観法に基づく景観計画の策定自治体数	H24	11	R2	19	
3-11	・保安林指定面積(魚つき保安林を含む)	H28	17,234ha	R2	17,359ha	
3-12	・都市公園面積	H28	4,748.1ha	H30	4857.36ha	
3-13	・都市計画法に基づく風致地区指定面積	H28	3044ha	R2	3082ha	
3-14	・都市緑地法に基づく特別緑地保全地区指定面積	H28	3.4ha	R2	17.9ha	
3-15	・史跡、名勝、天然記念物等の国・府指定件数	—	—	R2	244件	
3-16	・海水浴場の利用者数	H28	32.7万人	R1	20.1万人	

3-17	・漂流ごみ、海底ごみ回収量	H28	海底堆積ごみ85m ³ 海中浮遊ごみ2.9m ³	R2	海底堆積ごみ61m ³ 海中浮遊ごみ3m ³ 海岸漂着ごみ37m ³ 大阪港内(大阪市実施)122トン	
3-18	・海岸等における美化活動参加者数及びごみ回収量	H29	参加者:約30万人 ごみ回収量:約840t	R1	参加者:約28万人 ごみ回収量:約750t	R2年度に実施した大阪府海岸漂着物等対策推進地域計画改定に係るアンケート調査結果による。
3-19	・大阪湾の環境保全に関連するイベント数・参加者数	H28	(府) イベント:7件 参加者:約12,400人 (市町他) イベント:21件	R1	(府) イベント:11件 参加者:約65,500人 (市町他) イベント:28件	R2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、中止したイベントが多いため、R元年度実績を記載した。 (参考)R2年度(府)イベント:3件、約5,800人 (市町他)イベント:16件
4 水産資源の持続的な利用の確保に関する指標						
4-1	・栽培漁業の対象魚種数・放流尾数	H28	5種 マコガレイ:10.5万尾 ヒラメ:14万尾 キジハタ:6.3万尾 アカガイ:5万個 トラフグ:2.9万尾	R2	4種 ヒラメ:10.4万尾 キジハタ:10万尾 アカガイ:8万個 トラフグ:1.1万尾	
4-2	・資源管理の対象魚種数	H28	13種 マコガレイ、マダイ、メ イタガレイ、ガザミ、ヒ ラメ、オニオコゼ、シャ コ、クルマエビ、アナ ゴ、キジハタ、イナ ゴ、スズキ、サワラ	R2	13種 マコガレイ、マダイ、メ イタガレイ、ガザミ、ヒラ メ、オニオコゼ、シャ コ、クルマエビ、アナ ゴ、キジハタ、イナ ゴ、スズキ、サワラ	
4-3	・資源管理における遊漁者の取組事例	—	—	H28~R2	あり	大阪釣具共同組合が稚魚などの再放流といった釣りマナー向上の啓蒙活動を行っている。
4-4	・漁場整備面積	—	—	H24~R2	水産環境整備事業: 攪拌ブロック礁設置 面積:約8ha 200基設置	(参考)地域水産物供給基盤整備事業(H15~H26年度) 増殖場(藻場)造成面積:約24ha(H15~H21年度) 約8.5ha(H22~H26年度)
4-5	・広域的な漁場整備の実施事例	H28		H24~R2	あり	水産環境整備事業(H24~R2年度):攪拌ブロック礁設置 面積:約8ha 200基設置
4-6	・漁業生産量	H28	海面漁業18,254t 海面養殖業523t	R1	海面漁業14,488t 海面養殖業410t	
4-7	・ノリ・ワカメの生産量	H28	456t	R1	338t	
5 基盤的な施策に関する指標						
5-1	・広域的に連携した環境保全に係る取組の事例	—	—	H29~R2	あり	ぐるっと大阪湾フォトコンテスト(大阪湾環境保全協議会)
5-2	・関連するホームページとその閲覧数	H28	4553(閲覧数)	R2	10298(閲覧数)	大阪府ホームページ「大阪湾と河川の環境保全」の閲覧数を記載した。
5-3	・環境教育・環境学習の推進事例	—	—	H28~R2	あり	ECO緑日2020(大阪市)、大阪湾フォーラム(近畿地方整備局主催)他